

【補足資料2】小中学校における分散登校に係るガイドライン

登校パターン例

小学校【例1】

※教室に付く教員それぞれが、各教科の指導を担当。

	月	火	水	木	金
登校学年	2, 3, 5年	1, 4, 6年		2, 3, 5年	1, 4, 6年
日程	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導	欠席 児童 への 対応	①健康観察 ②テスト ③テスト ④宿題指導	①健康観察 ②テスト ③テスト ④宿題指導

【時間】 ①10分、②45分、③45分、④20分

【方法】 「教科学習」で各教科の知識・技能に係る指導を4コマ(各20分程度)実施し、3日後の「テスト」までの間、一律の宿題に取り組ませる。
テスト実施後は、習熟度別又は選択式の宿題を提示する。

小学校【例2】

※午前、午後に分けて、全学年を登校させる。

	午前	午後
登校学年	2, 3, 5年	1, 4, 6年
日程	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②給食 ③教科学習 ④教科学習 ⑤宿題指導

【時間】 健康観察10分、給食40分、教科学習45分、宿題指導20分

【方法】 各教科の知識・技能に係る指導を4コマ(各20分程度)実施。
適宜、定着度を確認するためのテストを実施。

小学校【例3】

※学級を二分割し、隔日で登校させる。(兄弟姉妹が同一グループになるようにグループ編成)

	月	火	水	木	金
登校学年	Aグループ	Bグループ		Aグループ	Bグループ
日程	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	欠席児童への対応	①健康観察 ②テスト ③テスト ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②テスト ③テスト ④宿題指導 ⑤給食

【時間】 ①10分、②45分、③45分、④20分、⑤40分

【方法】 については、【例1】と同じ

中学校【例1】

※教科担当教員がテレビ放送により指導し、各教室担当が補助。

※1, 2年生については、「教科学習」と「テスト」を②・③又は月・木で入替。

	月	火	水	木	金
登校学年	1, 2年	3年		1, 2年	3年
日程	①健康観察 ②学習・テスト ③学習・テスト ④宿題指導	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導	欠席 生徒 への 対応	①健康観察 ②学習・テスト ③学習・テスト ④宿題指導	①健康観察 ②テスト ③テスト ④宿題指導

【時間】 ①10分、②50分、③50分、④20分

【方法】 「教科学習」で各教科の知識・技能に係る指導を4コマ(各25分)実施し、3、4日後の「テスト」までの間、一律の宿題に取り組みさせる。
テスト実施後は、習熟度別又は選択式の宿題を提示する。

中学校【例2】

※午前、午後に分けて、全学年を登校させる。

	午前	午後
登校学年	1, 2年	3年
日程	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②給食 ③教科学習 ④教科学習 ⑤宿題指導

【時間】 健康観察10分、給食30分、教科学習50分、宿題指導20分

【方法】 各教科の知識・技能に係る指導を4コマ(各25分)実施。
適宜、定着度を確認するためのテストを実施。

中学校【例3】

※学級を二分割し、隔日で登校させる。(兄弟姉妹が同一グループになるようにグループ編成)

	月	火	水	木	金
登校学年	Aグループ	Bグループ		Aグループ	Bグループ
日程	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②教科学習 ③教科学習 ④宿題指導 ⑤給食	欠席生徒への対応	①健康観察 ②学習・テスト ③学習・テスト ④宿題指導 ⑤給食	①健康観察 ②学習・テスト ③学習・テスト ④宿題指導 ⑤給食

【時間】 ①10分、②50分、③50分、④20分、⑤30分

【方法】 については、【例1】と同じ